

会報



再処理企業協議会

さいくる



2016年1月 第5号

2016年（平成28年）1月1日発行

発行：再処理企業協議会

発行責任者：事務局長 北上孝寿

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字

弥栄平1-5 再処理企業センター

TEL (0175) 71-2478

FAX (0175) 71-2488

URL <https://www.saisyori-kigyokyogikai.jp/>

会長挨拶



新年のご挨拶

再処理企業協議会会長
株式会社東芝
六ヶ所再処理建設所

所長 吉本 篤史

再処理企業協議会の皆さま、明けましておめでとうございます。

健やかな新年をご家族一同でお迎えのこととお慶び申し上げます。お蔭様で本協議会も昨年11月で3年目を迎えることができ、これも皆さんの御尽力によるものと改めてお礼を申し上げます。本協議会は発足時の「高い品質確保・技術力向上及び会員相互のコミュニケーション推進による円滑な活動」の二大理念に基づき、各会員皆さんの積極的な参加は基より各理念を遂行する為に一丸となって活動頂いた技術研修部会及び広報部会ならびに縁の下の力持ちとなり着実に活動を推進して頂いた事務局及びお忙しい中、本会の方向性を熱く議論して頂いた役員の皆さんに改めて感謝を申し上げます。

さて、昨年は川内原発1/2号機が再稼働し、原発再稼働元年となりました。今後も再稼働するプラントが続くことが期待されますが、その中で原燃殿より本再処理工場の竣工時期を本年3月から約2年半後の2018年上期に延期することが発表され、新たな目標が設定されました。

2年半と言うと長いように感じますが、現実的には新規制基準対応、設備点検並びにトラブル対応等を考慮すると非常に身が引き締まる目標ができたと感じています。つまり全国のサイトで同じように再稼働あるいは竣工を目指している中で、人・物・金を如何にスムーズに動かしていけるか。特に人材は逼迫し、2H者（初めて・久しぶり）の方が必然的に多くなることが想定されます。品質を確保し、ゼロ災での完工を達成する為に原燃殿は会員各社、特に地元企業各社への期待度が高く本協議会においては再処理工場の仕事に密着した教育プログラムの確立・推進を重点課題として引き続き取り組んでいきたいと思っております。

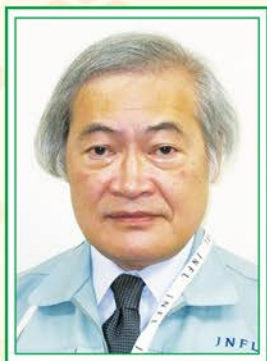
その中で皆さんにお願いがあります。それは個人的にも仕事の面でも自分なりの目標を持って頂いて、本協議会を上手く活用して頂いて目標に向かって毎日/毎月/毎年どれくらい近づいているか確認しながら成長して頂きたいという事です。

「乗り越えられない困難は無い」と言われます。是非、諦めずに少しずつでも個人個人が向上していくという意識を持って、世界一安全な核燃料サイクルの実現という共通の目標を実現して行くではありませんか。

今年は申年に当たります。申年の申は本来「しん」と読み、「もうす」や「のびる」という意味があります。忌憚なく「物申し」、お互いに「伸びて」いくコミュニケーションの良い組織にしていきたいと思っておりますので、引き続き御協力のほどお願い致します。

以上

再処理事業部長挨拶



新年挨拶

日本原燃株式会社

再処理事業部長

村上 秀明

再処理企業協議会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご家族共々爽やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

再処理企業協議会の会員の皆様には、私どもの再処理事業において、常に現場第一線での各種業務を担っていただいていることに、心より感謝申し上げます。また、この年末年始にも、工場業務に対応された方々におかれましては、大変ご苦労さまでした。

さて、昨年11月、再処理工場のしゅん工時期について、原子力規制委員会による審査の状況を踏まえ、その後の許認可手続き、更に新規制基準への適合に必要な工事案件および工事期間を検討した結果、2018年度上期に変更いたしました。

新規制基準の対応は、すでに2年近く経過していますが、われわれは、福島第一原子力発電所の事故への深刻な反省に立って、この六ヶ所で新たな安全安心を作り上げ、もう一度地域の方々に認めていただくという、日本原燃事業の存立をかけた極めて重要な取り組みです。新たな目標時期に向け、皆様と一丸となって、新しい安全安心を築き上げて行きたいと思います。

また、昨年は労働災害や不適合事象など、作業員の負傷や工場の安全管理が問われるような事象が発生しました。新しい安全安心を作り上げていくということは、新規制基準対応による設備改造だけでは達成できません。現在の設備の安全がしっかり守られ続けていることが全ての基盤になります。

労働災害等において、被災者となるのは、現場第一線で働く作業員となります。事業の推進にあたっては、何よりも「安全が最優先」です。最悪の事態を招かぬよう、慣れた作業でも、もう一度基本に立ち戻って、新しい安全安心の土台をゆるぎないものにしていきましょう。

そういった意味でも、再処理企業協議会には、労働災害防止に向けた勉強会や企業間における安全技術の共有などにより、労働災害の撲滅にむけて、今後より一層ご尽力していただきたいと考えます。

最後になりますが、新しいしゅん工時期の実現に向けて、引き続き、お互いに声をかけ、助け合いながら全力で取り組むとともに、再処理企業協議会ならびに参加企業の発展と、今年一年、職場の仲間やご家族が安全で安心して過ごされますことを心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願いいたします。

以上

再処理企業協議会設立3周年記念講演会

11月30日（月）再処理企業センター（X15）会議室において、再処理企業協議会設立3周年記念講演会が開催されました。

「笑顔で安全管理。現場の作り方」という演題で、落語家の三遊亭白鳥さんにご講演いただきました。

笑いの中にも、私たちの現場ですぐにでも活用できるお話が多く、とても楽しく有意義な時間となりました。



六ヶ所村「尾駁の牧」歴史研究会 会長 相内 知昭

今回から数回に分けて、平安時代の六ヶ所村の馬飼開始の背景と石帯出土の背景に迫って見たい。元来、日本古代における陸奥国は、押しも押されぬ「駿馬」の産地として有名であったことは、「陸奥国交易馬制度」の歴史から見ても、文献学的にも、考古学的にも疑いがなくされている。しかし、その馬産地の中心地は、国府のある多賀城（宮城県）を中心とした陸奥国本国ではなく、国の外ともされる「化外（けがい）の地」、後の「戸ノ九戸」の行政区域が成立した、後世の「糠部（ぬかのぶ）」地方、現在の上北・三八地方だったと考えられている。それは、七・八世紀の「鹿島沢・丹後平古墳群」（八戸市）や「阿光坊古墳群」（おいらせ町）において、数々の馬具類及び刀剣類の出土を見ても明らかである。

しかし、その六ヶ所村の馬飼の開始時期は、前回、お話ししたように平安中期（十世紀）からである。その頃に「尾駁の駒」が「後撰和歌集」に初出し、鎌倉初期まで詠われた。時は「摂関政治」の時代であり、天皇への馬を贈るための直轄の「御牧（みまき）」が、信州・関東地方に整備されていた時期でもある。そして、その御牧から貢上された御馬は、朝廷の「紫宸殿（ししんでん）」・南庭において、天皇が出席している面前で儀式をもって、馬寮（めりょう）や、有力貴族、高級官僚に、天皇の指示により分け与えられていた。そして、頭数を多く、駿馬を分け与えられた者ほど、天皇の信任も厚かったのである。

平安時代、有力貴族や権力者たちにとって、馬は権力・財力の象徴であり、また、「平将門の乱」以後、関東の御牧からの馬の貢上が廃れ始め、それに伴い、台頭してきたのが「陸奥国交易馬」であった。時の権力者、藤原道長は、自邸に新しく馬場を新調し、真先に、天皇へお披露目する前に「陸奥国交易馬」を牽き入れ、検分していたという…。

次回は、権力者と神聖なる「まだら馬」についてお話しして見たい。乞う、ご期待…。



「ミステリアスな歴史・古代の六ヶ所村」【第三回】

第3回再処理企業協議会ボウリング大会

10月24日（土）第3回再処理企業協議会ボウリング大会が三沢ボウル（三沢市）で開催されました。

腕に自信のある方、ない方、純粋にボウリングが好きだ！という方まで含め、27チーム108名の方に参加いただき、賑やかに開催されました。投球のたびに起こる笑い、拍手、ハイタッチ。日頃同じ職場にいても見ることの少ない（出来ない??）素敵なスマイルに出会えたのではないのでしょうか。

また、その後の懇親会が大盛り上がりになったことは言うまでもなく・・・楽しいひとときとなりました。

個人成績

順位	氏名	1ゲーム	2ゲーム	ストライク/スベア	トータル
第1位	淵沢勝利	168	175	10/4	343
第2位	森島 博	143	196	6/10	339
第3位	山田義長	202	136	8/3	338

団体成績

順位	チーム名 (会社名)	1ゲーム	2ゲーム	ストライク/スベア	トータル
優勝	ダイセン (大泉建設)	637	524	21/21	1161
準優勝	昔取った 杵柄三人 (青森クリエイト)	572	579	18/32	1151
第3位	チーム降参! (むつ小川原 原燃興産)	546	549	15/29	1095



第2回再処理企業協議会杯ゴルフ大会

7月11日（土）下北スリーハンドレッドゴルフクラブにて再処理企業協議会杯ゴルフ大会が開催されました。

会員及び企業間の更なるコミュニケーションの場として、新緑の空の下（少々暑中）49名の方々にご参加いただきました。

日頃の練習の成果でしょうか、ナイスプレー、ナイスショットが連発し、和やかな雰囲気の中で終わることができました。今年実力が発揮できなかった皆様、来年のリベンジに期待しております。参加お疲れ様でした。



成績	氏名	会社名	GROSS	HDCP	NET
優勝	附田 角栄	六ヶ所エンジニアリング(株)	92	21.6	70.4
第2位	井石 貴樹	(株)木内計測	92	20.4	71.6
第3位	鈎 孝幸	日本原燃(株)	90	18.0	72.0

ランニング

日本原燃株式会社脱硝課 齊藤 雄太

皆様、日々の業務お疲れ様です。放射線安全課の藤野副長からの依頼で寄稿させていただく脱硝課の齊藤雄太といいます。今回は私が最近ハマっていることについて紹介したいと思います。そんなの興味ない！と言わず最後までお付き合いください。

ということで私が最近ハマっていること、それはズバリランニングです。始めた動機も単純で年齢が30代に突入すること、運動不足過ぎて、会社の居室の4階まで階段で上るだけで息切れが止まらないこと、徐々に老いていく体に抵抗しようと始めたのがきっかけでした。初めは只々きつかったランニングでしたが、徐々にその魅力にひかれていき、去年は岩木山トレイルマラソン(15km)やアップルマラソン(ハーフ)に出場しました。記録は人に言える程ではありませんが、どちらも無事完走することができました。

来年も継続し、フルマラソン目指して頑張りたいと思います。どこかでお会いしたら是非声をかけてください!!

次は、(株)ジェイテック 樋口健太さんをお願いします。



ラグビー

原子燃料分析有限責任事業組合 米田 翔

(株)ジェイテックの山本部長よりバトンを受け継いだ原子燃料分析有限責任事業組合 業務管理課の米田です。

今回は今熱いスポーツであるラグビーについて紹介したいと思います。なぜ熱いのかと言いますと、知っている方は知っていると思いますが、H27年9月・10月に開催されたラグビーワールドカップにて、優勝候補の南アフリカを相手に歴史的勝利を収めたことから、国内のみならず海外でも大きく報道され話題となりました。また、五郎丸選手の独特のポーズも話題となり、小さい子から大人まで一気に人気が出てきたスポーツです。私も高校時代にラグビーを始め、社会人になり一旦は離れましたが、まるで人気が出るのを予想したかのようにH27年5月「日本原燃サイ클ーズ」に入部し、約6年ぶりにラグビーの楽しさ、そしてメラメラと燃える闘志・体脂肪に喜びを感じているところです！現在の目標は丸々と太った体を鍛えあげ、現役時代の頃のように戻り、嫁や3歳の娘に「デブ」と言わせないことです(泣)

また、ラグビーは元々イギリス発祥であり、「紳士教育」の一つとも呼ばれております。ぶつかり合いが多い為、違反をするとすぐにプレーを止め攻撃権が相手に移ります。そのため違反をしないという高いフェアプレー精神・お互いを称え合う精神は抜き出ており、「One for All, All for One」一人はみんなのために、みんなは一人のためにという言葉がこんなにも似合うスポーツは他にないと思います。体作りはもちろんのこと、精神面でも成長できるスポーツなので、ぜひ興味をお持ちの方は「日本原燃サイクラーズ」で一緒に汗を流しましょう！

さて、次回は(株)東芝の生駒 眞之介さん、宜しくお願いします！



THE テニス!!

美和電気工業株式会社 若松 寛仁

MMTEC/藤原様よりバトンタッチ致しました美和電気工業の若松です。

私の趣味は、高校から始めたテニスです。

現在も三沢のMTCで活動しています！最近、あまりできていませんが…(笑)

テニスを始めるきっかけは、親友からの「テニスやろうよ」のかるーい誘いでした。ですが、いまでは誘って頂いてよかったなと感じています。最近では、錦織選手の活躍のおかげで人気も上がり、テニスを始められる方が増えており、うれしく思っております。スポーツ全般に、練習は厳しいものですが、試合で勝った時の喜びや仲間との交流。何ごと、楽しさがなければ継続できないと思います。仕事もプライベートも楽しく、これからも頑張っていきます!!

みなさんもテニスを始めてはいかがですか？(笑)

さて次は、青森日揮プラント(株)の大山貴史さん、宜しくお願いします！



お昼休みの過ごし方

日本原燃株式会社品質保証課

齊藤 慎也

再処理事業部品質保証課の齊藤です。

皆様は、お昼休みをどのようにお過ごしでしょうか。

自分は、体育館で、ミニサッカー、筋トレ(暖かい時期だと、構内をジョギングすること)で体を動かしています。

肥満防止のため、体を動かしたい!!と思ったことから、昼休みの運動を始めましたが、今では、昼休みに体を動かさないと、午後、落ち着きませんし、スッキリしない1日になります。

また、体育館での運動は、日ごろのストレス発散や、他部署の方とのコミュニケーションを取る場ともなっており、とても有意義な時間となっています。

お昼休みに仮眠を取っている方、スマートフォン等をされている方も、健康増進などのために、体を動かしてみてもはどうでしょう。

スッキリした1日を、ツググザーしてみませんか。

次は、放射線管理部放射線施設課の榊雄一さんをお願いします。





まぐろ

自分ではなかなか買えないけど、大間のまぐろは冬が旬。トロを食べたーい!



三沢ほっき丼

三沢名物のほっきが、各店独自に味付けされた丼ぶりになって食べられます。冬季限定。



地吹雪

横から下から吹き付ける雪は九州出身の私には強烈です。



十和田湖冬物語

いつもの忙しさを忘れ、冬なのに家族のぬくもりを感じることができました。



りんご売り

青森名物のりんごが旬。どこに行ってもりんご売りを見かけます。おいしいりんごをすぐに食べられます。

「青森の冬といえば…」 さいくる de Talk 株式会社IHI



関川 絵美

ながいも

あつあつのご飯に掛けて食べると最高です。恥ずかしいのでイラストで。



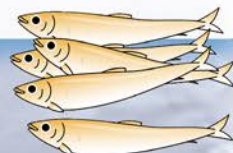
下田公園の白鳥

下田公園へ行くと、白鳥をはじめ色々な鳥をバードウォッチングできます。



わかさぎ釣り

美味しいですね、わかさぎ。でも、釣るのは知人で、私の専門は食べる方です。(笑)



温泉と日本酒

温泉にゆったり浸って、日本酒があれば言うことなしです。この時期限定の生しぼりたてが待ち遠しい。青森にはおいしい地酒がたくさんあります。



果物!

りんごにゼネラル・レクラーク、冬に果物がおいしい。ほんとうはスタミナ源たれで焼き肉食べたい!



鍋

青森にはおいしい食材がたくさんあるけど、有名なのはせんべい?



再処理企業協議会 ホームページのご案内

再処理企業協議会では、ホームページを公開しております。当ホームページでは、設立趣意書、かわら版や会報等を紹介しております。また、会員限定のページもあり、入所時教育の申込やお知らせなど多くの情報を確認できます。当協議会では、ホームページの改善やコンテンツの充実に努めてまいりますので、是非当ホームページを奮ってご活用ください。

また、再処理企業協議会では、協力会社の皆様のご意見、ご要望を受付しております。以下にて、ご連絡ください。なお、相談者のプライバシーにつきましては厳重に保護されますのでご安心ください。

●ホームページアドレス

<https://www.saisyori-kigyokuyogikai.jp/>

●電話・FAX

0175-71-2487 平日 10時～16時

0175-71-2488



行事のお知らせ

1月6日 餅つき大会

1月29日 かわら版 2月18号発行

2016年度もダーツ・ゴルフ・ボウリング大会等が予定されています。皆様のご参加をお待ちしております。



事務局長あいさつ

あけましておめでとうございます。いつも再処理企業協議会活動へのご支援ご協力いただきありがとうございます。

再処理企業協議会も四年目となりました。新年も皆様に喜んでいただけるような活動を展開してまいりますので旧年同様積極的なご参加をよろしくお願い致します。

さて、会員様とご家族の皆様には良い正月を迎えられたことと思います。正月と言えは年末の大掃除、門松、除夜の鐘、初詣など様々な正月行事や風習があります。ご存知と思いますが、正月の由来は、「歳神様」という新年の神様が一年の幸福をもたらすために元旦の日の出とともに各家庭に降臨するとされています。その歳神様を向かい入れてお祝いし、たくさんの方の幸せを授けてもらうために、様々な正月行事や風習が生まれたようです。

「門松」は歳神様が迷わずやってくるための目印で、松は神が宿る木とされており、雄松と雌松を左右一対に飾ります。再処理企業協議会でも再処理企業センターの玄関前に毎年設置しており、堂々と立っている見事な門松を見ると新年を迎えた喜びを感じるとともに、自然と身が引き締まる思いが致します。

古来より引き継がれ、そして今後も続いていくだろう正月行事や風習は、日本の良い伝統としていつまでも残して行きたいものですね。

最後に、会員の皆様と会員のご家族のご健康とご多幸、そしてご安全をお祈り致します。

二〇一六年元旦

再処理企業協議会



事務局長 北上 孝寿

編集担当者より



東京エネシスの佐竹です。再処理企業協議会の広報部会員として約二年経ちました。今年は、自分自身も飛躍して再処理企業協議会および広報部会へ貢献できるように考えています。



永木精機の橋本聖一です。皆様あけましておめでとうございます。二〇一六年も厳かに幕を開け、新年のスタートになにやらコロナ踊ってあります。

今年こそは目標に向かって地に足をつけ、仕事もプライベートももっと活動していきたくと思っています。人と人とのつながりを大切に。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。